

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北陸)	-	-	-	-
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・食品、雑貨、化粧品を中心に好調である。リニューアルオープンやニューオープンしたショップの後押しもあって来客数が伸び、それに伴い売上も好調に推移している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・季節限定商品などで、通常より高単価の商品の動きによって以前より改善している。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上87%、宿泊人数87%、宿泊単価98%であり、北陸新幹線開業前の水準に戻っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊と宴会、レストラン部門共に前年売上を上回っている。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・インターネットや電話、テレビの新規契約や増設契約の問い合わせが、若干ではあるが増えている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・問い合わせやイベントへの来場者が増えていない。また、商談に時間を要する客が多くなり、成約までに通常の2倍以上の時間がかかっている。しかし、契約数、契約高は共に増えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・前年も同じような状況だったが、朝夕の気温の低下に伴って羽織ものに関心が高まり、購買につながっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・前月は夏物セールの上不足を秋物でカバーしたが、いち早く売れ始めた秋物需要の好調維持は難しく、需要の先食いに終わる懸念がある。商業地中心部の記念行事では共同販促のための抽選会に参加し、入込客は増加したものの、客の利用は飲食関係が中心で全体のにぎわいには結び付かなかった。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・来客数が増えているようである。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	販売量の動き	・個人客の売上は減少しているが、企業向けの売上は微増している。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・学生の購買が多く、販売量が伸びている。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	販売量の動き	・決して暇なわけではないが、忙しいという状態でもない。あまり変わらないまま、今後もこの状態で進むと考える。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・9月前半は秋物衣料の動きが好調に推移した。連休を含む中旬以降は、食品物産展を開催して催事場にはぎわったものの、各階への買い回り効果にはつながらずファッション関連を中心に苦戦している。要冷蔵品を購入して、そのまま帰る客が多い。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・一時的ではあるが店内外のイベント効果によって来客数が増えている。食品や化粧品が好調であるのに加えて、不振のミセス婦人服には回復傾向がみられる。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・競合店の改装休業のため、一部店舗では来客数が増加し売上が伸びている。最近では、食品スーパーの全面改装や売場の一部改装が増加しているようである。
		スーパー（統括）	来客数の動き	・客の節約志向は依然として強く、来客数は伸び悩んでいる。
		スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・8月は旧盆セールにより若干の増加があったものの、月間でみると来客数は横ばい状態である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・新タイプの煙の出ないたばこが大変好調に推移しており、たばこの販売量が伸びている。しかし、主力の弁当やおにぎりといったものが前年を下回っている。トータルでは売上は前年並みで推移しているが、傾向としてはあまり良くない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・販売量と客単価が前月比でほぼ変化がない。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・総選挙が決まってから、固定客の来店が少し減っている。	
	衣料品専門店（総括）	単価の動き	・来客数は伸びているが、客単価が下がっている。	
	家電量販店（本部）	販売量の動き	・季節要因を除くと特に変化がみられない。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車が発売されたが、販売量は前年とあまり変わらない。むしろ中古車の販売が少し活発になっており、低価格帯の車への需要がみられる。	

	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・特に大きな変化がみられない。
	乗用車販売店 (役員)	お客様の様子	・新車購入において、上級グレードを求める割合が増えてこない。
	その他小売 [ショッピング センター]	販売量の動き	・食料品は一部の野菜で相場高が続いたが、早く相場が回復してほっとしている。客単価は前年並みだが、来客数は前年割れである。特に郊外の大型店舗で2%減と厳しい状態が続いている。
	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・連休中の台風によるキャンセルもあり、9月の宿泊客数が前年比10%以上まで落ち込んでいる。
	都市型ホテル (役員)	販売量の動き	・宿泊部門は堅調に推移しているが、レストラン部門と宴会部門は例年と同じ状況にあり、景気動向は変わらない。
	旅行代理店(所長)	販売量の動き	・前年と比べ実績や受注に大きな変化がみられない。
	旅行代理店(支店長)	お客様の様子	・客の様子には特に目立った動きがみられない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・秋に入り、今月後半から観光客が昼間にかけて増えている。全国規模の学会や大会などがある日は忙しく、タクシーが駅に1台もいなくなるのが何度もある。しかし、催物がない時は暇であり、全体的には変わらない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・タクシーの利用はますますである。
	通信会社(営業担当)	来客数の動き	・新商品が発表され、全体的に来客数が増えると考えたが予想以下である。店舗独自のイベントなどで集客を続けている状況である。
	その他レジャー施設(総支配人)	来客数の動き	・施設見学や体験のニーズはあるのだが、大人も子供もなかなか入会には結び付かない。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・ここ数か月は、来客数の前年割れが続いている。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・建て売り住宅や宅地売上の進行状況があまり良くない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・ここにきて、衣料品はもとより食料品関連の店でも売上が低迷している。極端に悪いということはないようだが、毎日のことなので、じわじわと売上が減少しているようである。
	家電量販店(店長)	来客数の動き	・テレビの買い控えや、エアコンなど夏物商材の好調の反動がみられる。
	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・9月の販売量は前年同月比99%である。3か月前の販売量は前年同月比116%であったので、3か月前との比較で下向きである。
	自動車備品販売店 (役員)	販売量の動き	・半期決算で集客のための販促を行っても、例年より反応が弱く、来客数は前年を下回る結果になっている。それに伴って、自動車用品販売における高額商材の動きも鈍化傾向にあり、単価も前年割れと更に厳しい状況になっている。
	その他小売 [ショッピング センター](統括)	来客数の動き	・シネマ部門は前年好調だった反動を受けて、来客数の前年割れが続いている。それに伴って飲食店も前年割れとなっている。また、衣料品については苦戦が続いている。客単価としては前年を超えているが、来客数及び購入率の低迷によって売上の前年割れが続いている。
	一般レストラン (統括)	それ以外	・飲食やコンビニなど接客の仕事では、現場の人手不足が止まらない。営業時間の短縮による売上高の減少や、求人費を含む人件費の上昇によって利益が減少する状況に加え、生鮮3品の原料価格の上昇が重なっている。
	通信会社(役員)	販売量の動き	・家庭向けの固定ブロードバンド市場がほぼ飽和状態にあるなかで、大手通信キャリアとの競合が激化している。一方で、解約は増加傾向で純増件数は伸びていない。
	テーマパーク (役員)	来客数の動き	・北陸新幹線開業から3年目に入り、特に秋の行楽シーズンで団体客の動きは落ち着きをみせている。前年同月比で1割近く来客数が減少している。
	住宅販売会社 (営業)	来客数の動き	・集客チャンスの期間であったにもかかわらず、来客数は一向に上向き様子がない。
x	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・地方の中小零細ファッション衣料店は、いよいよ深刻に悪化している。市場の縮小やネットとの競合など、構造的な問題にまで発展している。

	x	スナック（経営者）	来客数の動き	・連休以降は、全く客の気配や出入りが無い。開店休業の状態に不安になったが、赤字ぎりぎりといったところである。付近の同業者でも閉店時間を早めている。
企業動向関連		-	-	-
(北陸)		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅着工件数はやや頭打ちながら、非住宅分野では引き続き受注できており、販売量の動きは堅調に推移している。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・欧米、国内共に順調に受注している。その一方で、部材が入らずに客の要望する納期に間に合わないケースが出ている。
		精密機械器具製造業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・数か月前に比べれば、取引先の国内大手企業の在庫調整がほぼ終わっている。比較的高価格の商品の仕入れは、ばらつきがあるものの、全体的には回復の兆しがみられる。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地元自治体の工事発注が始まり、受注できている。
		司法書士	取引先の様子	・住宅以外の不動産取引や会社設立、役員増員など企業活動に関連する業務依頼が多い。
		食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・コンビニエンスストア向けの商材が好調に推移している。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・何とか前年並みの受注が確保できているものの、分野ごとのばらつきが大きい。自動車関連の資材やユニフォーム関連については堅調に推移している。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注状況は、前月とあまり変化がない。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・最近の受注量は順調に推移している。
		建設業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・工事発注量は増加傾向にあると考えるが、当地域の一部においては厳しい受注価格競争が起きている。
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・アベノミクスの効果で徐々に運賃が上がり、収益が改善されている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・従業員の確保に苦勞している企業が、特に飲食店などサービス業で多い。堅調な需要に対する障害となっており、消費の足を引っ張る状態になっている。
		税理士（所長）	取引先の様子	・客の状況をみると、前年の数字では製造業や建設業、サービス業も含めて、それほど大きくへこんだり、大きく上回る企業はない。しかし、過去5年の比較では徐々に市場が縮小しているのではないかと考える。3か月サイクルでは、あまり大きな変化が感じられない状況である。
		金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・夏場から休日に天候不順が重なることが続いているため、観光業や飲食業の勢いが弱い。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者から聞いた話によると、動きが良いという人と少し動きが悪いという人が半分ずつの割合である。
	x	-	-	-
雇用関連		-	-	-
(北陸)		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・求人広告の正社員とパートの割合が、前年同月と比較するとパートが大きく増えている。また、県発表の求人状況をみると、正社員として働ける人の就職数はあらかじめ固定されており、パートなどで浮動人員が雇用されていると考えられる。就職者の数が多くなれば景気にも寄与すると考える。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・住宅や車など高額商材を取り扱う企業から、消費税増税を見越した消費者の動きがあるとの話を聞いている。
		人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・有期雇用契約への求職者数が全く伸びないため、需要があってもマッチングができない。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者の数が相変わらず少ない。1～2年前と比較すると激減している。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・3か月前とほとんど求人数が変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年同月比でやや増加しているが、前月とほぼ同数であるため状況は変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・9月の新規求人数は前年同月比でやや減少となったが、8月の新規求人数については前年同月比3.4%の増加、前月比6.2%増加となっている。増加幅が小さいことと前月比減少といったことなどを含めて、変わらないと判断している。
		民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・人材派遣や人材紹介を希望する登録者、求職者が極めて少ない状況にある。

	学校 [ 大学 ] ( 就職担当 )	採用者数の動き	・ 製造業に対する大学生の内定状況は、前年度の同時期と比べて95%以上と5%ほど早く進んでいる。企業からの2次募集の案内も前年よりも多くきている。
	-	-	-
x	-	-	-